

## 経済学研究科の教員の養成の目標

### <経済学研究科 経済学専攻>

経済学研究科 経済学専攻では、基礎となる関西大学経済学部において、現代社会に生じる多様な問題を総合的に理解できる幅広い教養を有し、それらの問題の解決策を経済学の立場から提示し、あるいはその内容について経済学の基本原理及び専門知識を活用して理解し、深い洞察力をもって問題解決に向け「考動」することで社会に貢献できると判断された学士（経済学）の学位授与者を対象に教員養成を行う。具体的には、国際的な視野を持ち、豊かな専門的学識と高度な研究能力を備えた人材の育成という教育目標のもと、以下の能力・態度をそれぞれ身につけた高度専門職業人としての教員を養成する。

(1) 経済学の研究者もしくは高度専門職業人として活躍するために必要とされる高度な知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる能力、(2) 国際的な視野を持ち、経済学における高い専門性を活かし、高度な「考動力」を発揮して社会に貢献することができる能力、(3) 自らの学びに責任を持ち、経済学に関する未解決の課題に主体的に取り組むことができる態度、また現実に生じている国内外の諸課題に、経済学の知識を用いて主体的に取り組むことができる態度。

また修士の学位にふさわしい、柔軟かつ応用力を伴った教科及び生徒指導の実践的指導力により、学校現場で対峙するさまざまな事象や課題の解決にその力量を発揮し、経済学に関する専門的な学術活動における積極的な対人コミュニケーション等を通じて育まれた豊かな人間性、使命感、責任感、教育的愛情により、学校経営・学級経営等を力強く牽引していくことのできる、将来の管理職候補としての基盤となる資質・素養を育成する。

**(経済学研究科 経済学専攻 中専修免 社会)**

経済社会の変化等に対応して、エコノミスト系、パブリックポリシー系、地域・国際系、歴史・社会系、企業・ファイナンス系など幅広い分野の科目が用意された高度専門職業人養成コースにおいて、大学院レベルの経済学の知識の修得に加え、資料収集、実証分析、実地調査、論文執筆といった研究方法を身に付け、学位論文または特定の課題について研究成果をまとめるとともに、国内外の学会への参加や発表、研究内容の革新性、さらにはグローバルな課題との関連性などといった観点から、経済学の高度な知識を用いて自立的に行動する「考動力」や主体的に学びに取り組む態度を培うカリキュラムを編成している。中学校専修免許「社会」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)わが国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養されるわが国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

**(経済学研究科 経済学専攻 高専修免 地理歴史)**

経済社会の変化等に対応して、エコノミスト系、パブリックポリシー系、地域・国際系、歴史・社会系、企業・ファイナンス系など幅広い分野の科目が用意された高度専門職業人養成コースにおいて、大学院レベルの経済学の知識の修得に加え、資料収集、実証分析、実地調査、論文執筆といった研究方法を身に付け、学位論文または特定の課題について研究成果をまとめるとともに、国内外の学会への参加や発表、研究内容の革新性、さらにはグローバルな課題との関連性などといった観点から、経済学の高度な知識を用いて自立的に行動する「考動力」や主体的に学びに取り組む態度を培うカリキュラムを編成している。高等学校専修免許「地理歴史」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う、(3)地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、わが国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。

**(経済学研究科 経済学専攻 高専修免 公民)**

経済社会の変化等に対応して、エコノミスト系、パブリックポリシー系、地域・国際系、歴史・社会系、企業・ファイナンス系など幅広い分野の科目が用意された高度専門職業人養成コースにおいて、大学院レベルの経済学の知識の修得に加え、資料収集、実証分析、実地調査、論文執筆といった研究方法を身に付け、学位論文または特定の課題について研究成果をまとめるとともに、国内外の学会への参加や発表、研究内容の革新性、さらにはグローバルな課題との関連性などといった観点から、経済学の高度な知識を用いて自立的に行動する「考動力」や主体的に学びに取り組む態度を培うカリキュラムを編成している。高等学校専修免許「公民」の教職課程では、これらの学びの中で、修士の学位にふさわしい高度な専門性開発と柔軟な応用力をもって、(1)選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料からさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする、(2)現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う、(3)よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めるなど、社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成できる質の高い高度な教科指導力を有する教員を養成する。